

ハンドボールの魅力伝える

宇治支援学校 オムロン選手が出張授業

選手のアドバイスを受けながらドリブルの練習をする生徒(宇治市・府立宇治支援学校)



ハンドボール女子の強豪、オムロンピンデイズの選手4人が6日、宇治市の府立宇治支援学校で出張授業を行い、生徒たちに競技の魅力を伝えた。

高等部2年生15人が参加。グレイ・クレア・フランシス選手がチームやルールを説明し、「身体接触があり格闘技のような力強いプレーが魅力」と紹介。生徒たちは、選手のアドバイスを受けながらドリブルやパス、シュー

トを練習し、最後に5人1組で連係してパスを回しながらシュートを打ち込んだ。

生徒をサポートした小泉彩奏選手(洛北高1・武庫川女子大出)は「新たなことに挑戦して、できるようになる楽しさを感じてほしい」と語りかけた。ハンドボールは初めてという田中煌さんは「ドリブルやシュートが楽しかった」と話した。

(江夏順平)

©京都新聞社 無断複製・転載を禁じます。

著作権は、京都新聞社またはニュース配信元である通信社、情報提供者に帰属します。